代表質問通告内容

（令和６年定例会３月会議）

通告番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
代１	みらい （貳又　聖規）	１．町政執行方針について （１）町政に臨む基本姿勢について ①　『新たな未来へ「挑戦」と「前進」』について、本町の現状を踏まえると、「挑戦」とは町の存亡をかけた挑戦が相当と考えるが、「町制施行 70 周年を迎える節目の年であることから」とされている。町が位置づける「挑戦」の捉えを伺います。 ②　国立社会保障・人口問題研究所の人口推計では、2040 年度の生産年齢人口が北海道全市町村で最下位から 20 番目、胆振管内では最下位となっている。働き手の中心を担う年齢層の確保が喫緊の課題であるが、最優先事項の３項目に掲げる各事業には見当たらなく、この危機的状況を打破する政策や事業が必須と考えるが、町の対策と見解を伺います。 ③　本年度の執行方針に町民生活の安定化に資する施策や方向性が示されていないが、その理由と町の対策を伺います。 ④　令和５年度中に策定するとしていた役場庁舎建設基本計画が本執行方針では「役場庁舎建設等検討調査事業の実施」とされており、後退したものと捉えられるが、町の見解を伺います。 （２）『人口減少を食い止めるための「挑戦」と「前進」』について ①　交流人口の増加には、扇の要となる観光情報交流拠点である白老駅北観光インフォメーションセンター（ポロトミンタァ）及び地域内の循環を促すエンジン役を担う（一社）白老観光協会（地域ＤＭＯ）の双方が重要な機能や役割を果たすにも関わらず、執行方針には一言も明記されていない。観光分野における「挑戦」と「前進」として、具体策があるのか伺います。 ②　交流人口の増加に効果を生む、道の駅の進捗状況を伺います。 ③　駅北「民間活力導入区域」の進捗状況を伺います。

通告番号	質問者	件名と質問の要旨
代１	みらい （貳又　聖規）	（３）『町民生活の利便性向上、安全安心の充実に向けた「挑戦」と「前進」』について ①　令和６年度に策定するとされた「津波避難対策緊急事業計画」の推進が重点項目にない理由について伺います。 ②　令和５年度町長所信表明・町政執行方針にて、防災に関連し「誰一人取り残さない」複合的機能を有する防災拠点の整備を掲げており、このたびの旧社台小学校の活用に「津波避難対策緊急事業計画」を適用させ地域住民の安全安心を確保すべきと考えるが、町の見解を伺います。 （４）『この先も住み続けたいと思えるまちづくりに向けた「挑戦」と「前進」』の空き家対策について、空き住宅の適切な管理及び利活用を含めた空き家対策の進捗状況を伺います。 （５）主要施策について ①　循環型社会形成について、カーボンニュートラルの推進に向けた「挑戦」すべき姿と未来像及び具体的な取組について伺います。 ②　地域医療について、不祥事が相次ぎ町民の信頼は失墜している中、最優先事項として位置づけない理由並びに「新病院開設に向けた準備を本格化し」とあるが、本格化の具体的な取組について伺います。 ③　障がい者（児）福祉について、障害者差別解消法の改正により令和６年４月から合理的配慮の提供が義務化されるが、具体的な取組について伺います。 ④　企業誘致について、半導体企業進出の本町における地元経済の捉えと企業誘致策としての意向調査など具体的な取組について伺います。 ⑤　農業基盤の整備について、町道石山一番通りの整備に係る進捗状況を伺います。 ⑥　デジタル田園都市国家構想交付金事業の活用策について、町の見解を伺います。 ⑦　町制施行 70 周年の記念事業について、昨年の町長所信表明・町政執行方針にて掲げた「先人への感謝を忘れず」「ウポポイとの緊密な連携」をこの記念の年にウポポイを舞台にした複合的な事業展開をすることで、町民の郷土愛の醸成につながる『新たな未来へ「挑戦」と「前進」』にふさわしい取組と考えるが、町の見解を伺います。 答弁を求める者　　町　長

通告番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
代２	公明党 （長谷川かおり）	１．町政執行方針について （１）『人口減少を食い止めるための「挑戦」と「前進」』について ①　学校給食費無償化のさらなる拡充と安心して子供を産み育てられる切れ目ない子育て支援の考えを伺います。 ②　移住定住の促進や交流人口増による新たな人の流れの構築を目指すとあるが、コロナ禍以降における関係機関との連携や町の役割について伺います。 （２）『町民生活の利便性向上、安全安心の充実に向けた「挑戦」と「前進」』について ①　町民の命を守る地域防災力の強化は喫緊の課題とあるが、町の防災・減災の考えを伺います。 ②　時代の流れに取り残されることがないようデジタル技術を活用した住民の利便性向上について、具体的な取組と課題を伺います。 （３）『この先も住み続けたいと思えるまちづくりに向けた「挑戦」と「前進』について 「道路や公園、町営住宅、公共施設等の公共インフラは、町民が快適な生活を送る上で重要な役割を果たしており、老朽化の課題に対し計画的に更新し快適で住みよい環境づくりを進めていく」とあるが、各種計画の進捗状況と課題及び今後の見通しについて伺います。 （４）地域医療について 町民から信頼され持続可能な町立病院の実現に向けた運営体制の強化策及び患者さんに寄り添う病院体制の在り方と具体的な考えを伺います。 答弁を求める者　　町　長

通告番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
代３	しん （広地　紀彰）	１．町政執行方針について （１）町政に臨む基本姿勢の３項目の最優先事項について ①　人口減少対策としての子育て環境改善、白老の魅力発信のありようを伺います。 ②　町民の安全安心に資する地域防災力の向上策を伺います。 ③　住み続けられるまちに向けたインフラ整備の在り方を伺います。 （２）令和６年度の主要施策について ①　公共交通や地域医療などの主要課題について伺います。 ②　水産業、加工業振興に向けた施策展開を伺います。 ③　町内会の価値と協働の推進に向けた施策を伺います。 （３）予算編成について ①　財政規律の在り方を伺います。 ②　各種計画実現と財源に対する考え方を伺います。 答弁を求める者　　町　長

通告番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
代３	しん （広地　紀彰）	２．教育行政執行方針について （１）学校教育の充実について ①　確かな学力の育成に向けた取組の振り返りと令和６年度の具体化について伺います。 ②　豊かな人間性の育成における取組について伺います。 ③　教育環境の充実について伺います。 （２）生涯学習の推進について ①　高齢者の学びと交流の価値及び活動人口の醸成に向けた施策について伺います。 ②　社会教育施設整備と教育環境整備に向けた移動手段の確保について伺います。 答弁を求める者　　教育長

通告番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
代４	ひかり （佐藤　雄大）	１．町政執行方針について （１）『人口減少を食い止めるための「挑戦」と「前進」』について ①　子ども医療費助成事業の拡大と学校給食費無償化事業等切れ目ない子育て支援の今後の展望について伺います。 ②　移住定住を促進する奨学金返還支援事業や旅行者の集客を促進する観光パンフレット作成事業及び広域観光推進事業の具体策について伺います。 （２）『町民生活の利便性向上、安全安心の充実に向けた「挑戦」と「前進」』について ①　デジタル技術を活用した住民の利便性向上に向けた取組と具体策について伺います。 ②　地域防災力強化の取組と具体策について伺います。 （３）『この先も住み続けたいと思えるまちづくりに向けた「挑戦」と「前進」』について、町制施行 70 周年を迎える本町において、町民がまちに誇りを持ち、生き生きと住み続けるための本町独自のまちづくりの見解を伺います。 答弁を求める者　　町　長

通告番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
代４	ひかり （佐藤　雄大）	２．教育行政執行方針について （１）学校教育の充実について ①　「新しい時代に生きる子供たちの豊かな成長を支え育む」ための、第４期白老町スタンダードに基づいた取組と今後の展望を伺います。 ②「地域に信頼され、地域とともにある学校づくり」に向けたふるさと教育の充実について、具体策と今後の展望について伺います。 （２）生涯学習の推進について ①　「学びや活動を通したつながりづくり」に向けたスポーツ・健康増進活動の推進の取組と具体策について伺います。 ②　「郷土を愛し、次代を担う人材の養成」のための青少年教育の推進の取組と具体策について伺います。 ③　100 年先も元気で健やかに暮らせるまちを目指す「学びやつながりづくりの拠点となる環境の整備」の展望を伺います。 答弁を求める者　　教育長